

障害者への共感 音楽でさらに

千葉市で来月「ふれあいコンサート」

コンサートでリコーダーを吹く荒川知子さん
NPOちば特別支援教育提供



音楽と一緒に楽しむことで障害のある人への理解を深めてもらう「ふれあいコンサート」が11月6日、千葉市で開かれる。同市出身で、ダウン症のリコーダー奏者荒川知子さん(32)ら17団体が演奏する。

特別支援学級の元教諭らでつくるNPOちば特別支援教育の主催で今年が6回目。

荒川さんは、フルート奏者の父と兄、ピアノ教師の母と「ファミリーアンサンブル」を結成して全国各地で演奏活動を行い、コンサートに毎回出演している。6日は、ファミリーアンサンブルのほか福祉関連施設内の飲食店などで働く障害者らの団体も出演する。

コンサートは昨年に続き、有料(全席自由500円)の「ふれあいステージ」(県教育会館大ホール)と、通りがかりの人にも見てもらおうと、無料の

「まちかどステージ」(「きぼーる」1階アトリウム)の2会場で行う。

会場では、障害のある子どもの保護者と、福島県南相馬市の作業所で合作したカンバッチや、NPOの活動方針など刷り込んだTシャツを販売。荒川さんが働く仙台市の作業所で作ったクッキーも販売する。

有料ステージは午後1時から午後4時半、無料ステージは午前10時～午後2時。有料ステージのチケットは、ファクス(043・201・0575)か、NPOのホームページから申し込める。問い合わせは、事務局の西川信明さん(090・25520・3513)へ。

(長屋護)